

シンガポールに世界最大のカジノがあった ～マリーナ・ベイ・サンズ見聞録～

シンガポール事務所

日本では携帯電話のテレビコマーシャルで一躍有名になったシンガポールの観光の新しいシンボル「マリーナ・ベイ・サンズ」。このホテルは、宿泊施設の他に世界最大級のカジノ施設、国際会議場、国際展示場、ショッピング・レストラン施設などを持つ統合リゾート（Integrated Resort）であることを御存知ですか？



マリーナ・ベイ・サンズの全景

このたび、マリーナ・ベイ・サンズ全体を視察する機会を得たので、その施設の概要を紹介します。

1 各施設の概要

<宿泊施設>

55階建ての3棟のタワーから構成されています。2,561の宿泊室があり、1日のチェックイン・アウト者数は1,000人を超えるそうです。ホテルの従業員は、24時間3交代制で9,000人。雇用創出効果は群を抜いています。世界最大級のホテルです。

<スカイパーク（空中庭園）>

地上200メートルの高さにあり、3つのタワーを空中で繋いでいます。この庭園部分だけは、日本のある鉄鋼メーカーが建設したそうです。総面積は12,400平方メートルです。全長150メートルのプール、展望施設、レストラン、バーを備えています。プールは世界一高いところにあると謳っていて、シンガポールの街を見下ろせます。プールは6:00から23:00まで利用可能です。特に夜景が美しいそうです。プールの利用は宿泊客に限定されていますが、展望施設などは有料で宿泊客以外も利用可能です。



スカイパーク視察

<ショッピング・レストラン>

ショッピング・レストランは1階、地下1階にあります。この部分だけで延床面積が、8,000平方メートルあり、300の店舗があります。世界的に知られているブランド店も多数入居しており、シンガポール女性のあこがれのスポットです。

<エキスポ&コンベンション施設>

大規模な展示会や国際会議などにも対応する最先端のコンベンション施設です。地下1階、地上4階からなり、延床面積12万平方メートルあります。展示スペースだけで3万平方メートルもあります。参考までに日本最大の展示施設である東京ビッグサイトの展示スペースが8万平方メートルですので、その広さを理解いただけたと思います。この施設には2,000の展示ブース、250の会議室を備



コンベンション施設視察

えており、45,000人以上も収容できます。このうち、アジア最大の宴会場と呼ばれる部屋だけで12,000人が収容可能です。実際にインドネシアの財閥の令嬢の結婚式に利用されたことがあるそうです。

<カジノ施設>

延床面積15,000平方メートル。マリーナ・ベイ・サンズ全体の総床面積の5%を占めています。最新のスロットマシンが1,500台、テーブルゲームが650台も備えています。4つのフロアに分かれており、3、4階はパイザクラブというVIP専用スペースになっています。4フロアが吹き抜けとなっており、VIPスペースからカジノ全体が見下ろせる構造になっています。単独のカジノ施設では世界最大と言われています。残念ながら、カジノ施設内は写真撮影が禁止されているため、写真で紹介することはできません。

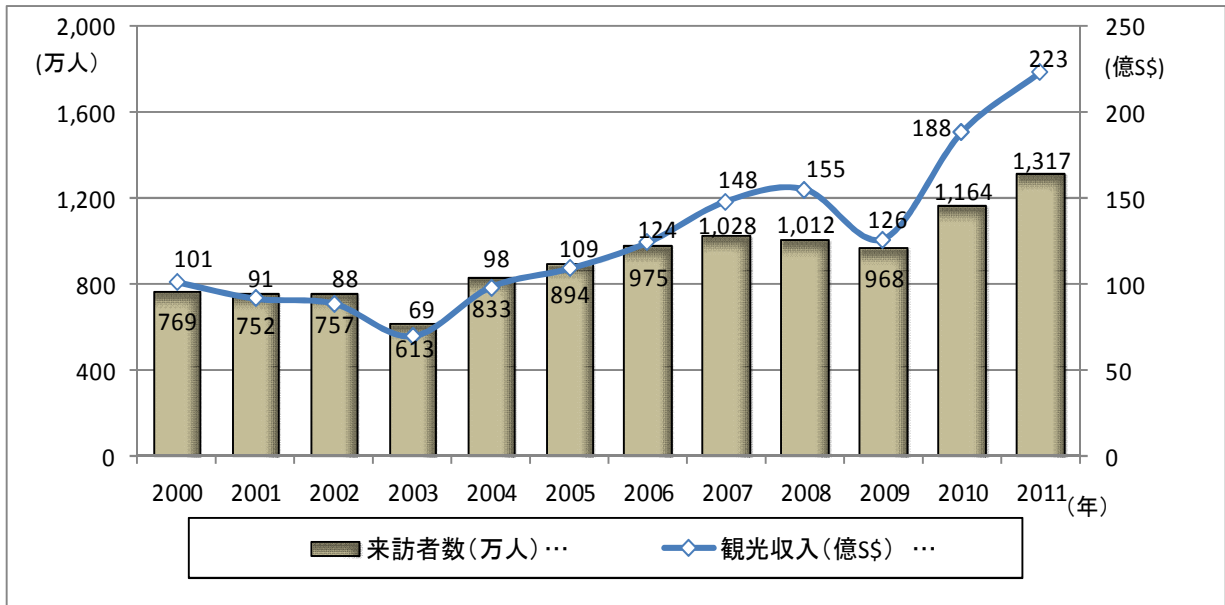
また、このカジノの売上高、利益率、利用者数などはすべて非公開としているため、詳細をお伝えすることもできません。そもそも外国人観光客を対象とした施設ですが、シンガポール人利用者は多く、全入場者の約50%を占めるそうです。次いで、中国人、香港人、インドネシア人が多いとのことでした。

2 マリーナ・ベイ・サンズの効果

2010年にこのマリーナ・ベイ・サンズとリゾートワールドセントーサの2つの統合リゾート開業が開業しました。その効果もあり、2010年のシンガポールへの来訪者数は1,160万人(対前年比20%増)に達しました。また、観光収入は、S\$188億(約1兆2,220億円、S\$1=65円)に達し、国内総生産の約6%を占めました。

続く2011年も来訪者数、観光収入ともに過去最高を記録しました。観光産業はシンガポールにおける主要な産業の1つになったと言えるでしょう。次々と新しい観光シンボルを作り出すシンガポール。今後、どのような取組をしていくのか興味あるところです。

参考：シンガポールへの来訪者の推移と観光収入



(長濱調査役 埼玉県派遣)

